



賛 成

遠藤 公彦 議員

令和7年度の白河市一般会計当初予算案を見ると、社会・経済情勢や国・県の動向を踏まえ、直面する行政課題に柔軟かつ的確に対応する予算となっている。歳入では、賃金の引き上げによる個人市民税や企業の設備投資による固定資産税の償却資産が堅調な伸びを示していることから、市税収は過去最高を見込んでいる。また、事業の実施にあたっては、国・県補助金を積極的に活用するなど、必要な財源確保に努められたものと感じている。歳出では、「安全・安心」「健康・福祉・医療」「産業・雇用」「教育・文化・生涯学習」「都市基盤」「コミュニティ・環境等」の6つの重点分野に必要な予算をバランス良く盛り込んでいる。これら、一つひとつの施策が効果的に展開されることで、市民一人ひとりが白河に誇りを持ち、真の豊かさを実感できる明るい未来が実現されることを大いに期待し、議案第24号令和7年度白河市一般会計予算に賛成する。

反 対

深谷 弘 議員

反対の立場から討論する。本予算案は、各分野ともにこれまでの事業の継続、拡充、さらに、新規事業を加えて編成されているが、市民の願い・期待に応えたものとはなっていない。例えば、少子化対策として全国の3割、県内の6割に広がっている学校給食費無償化について、市の決断・「やる気」の問題ではなく、財源の継続的な確保が難しいことを理由に挙げ、国による一律無償化の動きを注視し慎重に議論していくという方針である。昨年11月の陳情署名1891筆に対してもそのスタンスを変えようとしなかった。

予算の審議のやり方には大きな問題がある。予算編成における優先順位のつけ方、そのプロセスが開示されない。予算説明では項目ごとの説明が口頭(早口)で行われ、質問しないという状況についても改善が求められる。

財政運営について、市には常に80億円を超える積立金があるが、市民の切実な要求に応える方針がない。明らかなのは将来の「ハコモノ」を造るための支えとしての活用だけである。

賛 成

高橋 光雄 議員

「農業法人参入促進事業」の旅費は、狭い国土でありながら、農業大国の先進国であるオランダで、気候に左右されず、最先端技術により生産性を上げている次世代施設園芸の取り組みを学ぶものであり、加えて、見本市に参加することで、新たな農業法人の誘致の可能性を探ることを目的としている。

本市同様、大消費地に近い渥美半島の田原市は早くから大規模な生産基盤の整備を進め、生鮮野菜類の産地化と温室・畜産団地などの造成により全国的にも類を見ない農業先進地域となっている。

本市では、既に「株式会社みちのく白河農園」が進出し、新たな技術でトマトを生産している。今後、農業従事者が減少していくことを考えると、こうした先端技術の導入は不可欠であると考ええる。

市民産業常任委員会が、本会議で付託された本件につき、慎重に審議した結果、委員長報告の通り全会一致で可決していることを考え合わせ、賛成の意を表明する。

反 対

大木 絵理 議員

予算全体において、人口の減少はあるものの、税収入の伸びが見込まれるため、財政状況の安定化をさらに進められるものと評価している。しかし、市長と職員2名がオランダの農業見本市に合わせて渡蘭するための旅費のみが計上されている「農業法人参入促進事業費415万円」は、執行すべきではないと考える。その理由は4つ、

1. オランダへ渡航せずとも、日本で行われる農業イベントにて世界各国の最先端技術が見られる。
2. オランダ型農業が日本全国各地で取り入れられていることから、わざわざオランダへ渡航する必要はないと考えられる。
3. 日本の企業を誘致するよりも、現地の企業を誘致するほうがコストが何倍もかかると推測される。
4. 市長の交渉力は長けており、オランダへ出向かずとも企業を誘致することができると期待している。

である。

この事業が「未来への投資」ならば、本市の農家を下支える仕組みの強化や、新規就農者への支援拡充、また、こどもや教育への予算拡充することを先行すべきだと考えるため、反対である。

本会議の採決

(賛否がわかれたもののみ記載)

議案名 ※○は賛成 ●は反対 ※議長(石名国光)は採決に加わらない	永山均	遠藤公彦	植村美洋	大木絵理	吉見優一郎	鈴木裕哉	高畠裕	佐川琴次	戸倉宏一	根本建一	室井伸一	緑川摂生	柴原隆夫	菅原修一	北野唯道	水野谷正則	佐川京子	藤田文夫	大花務	高橋光雄	大竹功一	筒井孝充	深谷弘	議決結果
議案第24号 令和7年度白河市一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	可決
議案第1号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	採決
意見書案第1号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	可決
議案第59～65号 人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

◎議案第3号～23、25～58号については、いずれも全会一致で可決または同意しました。

賛成多数